

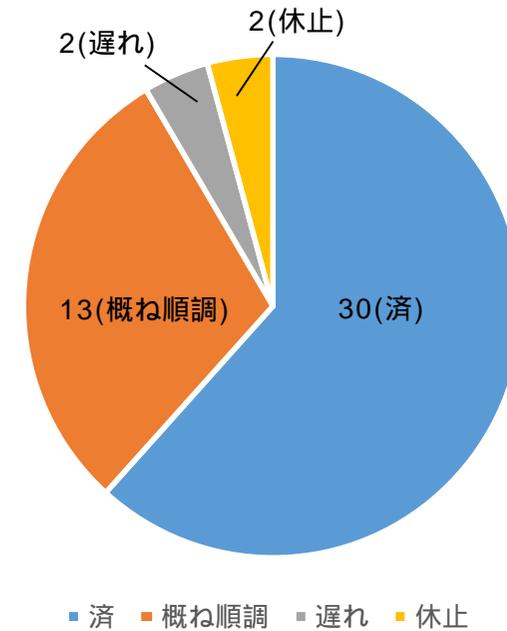


平塚市行財政改革計画（2020-2023）
令和2年度取組結果【総括】

1 進捗状況（詳細は資料1-2、1-4）

- ・ 23事業で47の取組を実施。
- ・ 取組の状況は、「済」「概ね順調」は43取組、全体の91%は順調に進捗。
- ・ 「遅れ」は2取組、「休止」は2取組。
- ・ 事業の方向性は、「継続」は21事業、「終了」は1事業、「休止」は1事業。

【取組活動数内訳（合計47取組）】



2 財政的な効果等（詳細は資料1-3）

- ・ 令和2年度の効果額は、約8億2,708万円。
- ・ 歳出削減 公立幼稚園・保育園再編等事業などにより、約2億2,901万円の効果。
- ・ 歳入確保 債権徴収の推進事業などにより、約5億9,806万円の効果。

【財政健全化効果額】

（単位：千円）

取組の視点	歳出削減	歳入確保	合計
(1)民間活力の活用	88,959	0	88,959
(2)施設の総合的管理	117,248	47,245	164,493
(3)行政の効率化	8,777	0	8,777
(4)収入確保策の推進	14,033	550,818	564,851
(5)身近で利用しやすい行政サービスの推進	0	0	0
(6)ICTの活用推進	0	0	0
合計	229,017	598,063	827,080

3 主な事業の取組と成果（詳細は資料1 - 4）

（1）民間活力の活用

民間活力活用事業【重点】

- ・学校給食単独調理場業務（港小学校）を委託。
- ・令和3年度からの委託に向けて、保育園給食調理場業務（神田保育園）の委託事業者を選定。

公立幼稚園・保育園再編等事業【重点】

- ・公立幼稚園（金目幼稚園、さくら幼稚園）を廃園。

（2）施設の総合的管理

公共施設総合的管理事業【重点】

- ・個別施設計画の策定に向けて、素案を作成。
- ・総合管理計画の改訂に向けて、素案を作成。
- ・個別の再編案件の検討では、今後再編の可能性がある施設の抽出などを実施。

（3）行政の効率化

定員適正化事業

- ・新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」という。）により急増した行政需要に対応するため、福祉総務課臨時給付金担当、健康課新型コロナワクチン接種担当などに職員を増員、併任。

(4) 収入確保策の推進

債権徴収の推進事業【重点】

- ・市税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料、住宅使用料（家賃、駐車場使用料）は、令和元年度と比較して収納率が上昇し、設定した目標を達成。
- ・市税、国民健康保険税、介護保険料などで、PayB、PayPay、LINEPayによるスマートフォン決済アプリを利用した納付を開始。また、市税で、ペイジー収納サービスを利用した納付を開始。

(5) 身近で利用しやすい行政サービスの推進

職員研修事業

- ・働き方改革の推進、接遇力の向上、業務遂行力の強化に向けた研修を重点的に実施。
- ・感染症の影響を踏まえ、実施の可否や延期、内容の見直しや縮小等を検討。また、試験的にデジタル化に対応したリモートによる研修を実施。

(6) ICTの活用推進

ICT活用推進事業【重点】

- ・RPAの検証を実施。
- ・美術館及び駅前市民窓口センターにキャッシュレス決済を導入。
- ・AI会議録作成支援システム、市ウェブにAIチャットボットを導入。

4 「遅れ」「休止」とした取組（詳細は資料1 - 4）

個別施設計画の策定、総合管理計画の改訂に向けた取組・・・遅れ [公共施設総合的管理事業]

- ・個別施設計画の策定、総合管理計画の改訂は、感染症の拡大の状況を考慮し、パブリックコメント手続の実施時期を延期したため。

クラウドファンディングに関する取組・・・休止 [寄附金活用事業]

- ・令和2年度に実施予定のクラウドファンディング（七夕まつり・花火大会）は、感染症の影響により、事業が中止となり、実施を取り止めたため。

5 「終了」「休止」とした事業（詳細は資料1 - 4）

窓口用タブレット端末活用事業・・・終了

- ・計画上の取組は完了したため。
- ・今後も、窓口用タブレット端末が効率的に活用されるよう配備場所の見直しや、更なる利便性の向上に向けてアプリケーションの充実を図る。

高麗山公園民間活力導入事業・・・休止

- ・施設の老朽化が全体的に進んでいることが判明したことから、今後は、高麗山公園の整備内容や事業手法等を改めて検討し、民間活力の活用に向けて取り組む必要があるため。